

槌音

桶川市立桶川中学校
学校だより 第1号
令和7年4月10日発行

未来の自分に誇れる今を

校長 小高 剛

暖かな陽射しの季節となりました。お子さまの御入学、御進級おめでとうございます。私はこの度の人事異動により第22代校長として着任いたしました小高 剛（おだか たけし）と申します。本校は今年で創立79年。これまでの歴史を大切にしつつ、新しい風を吹き込み、教育活動に取り組んでまいります。

さて、生徒たちは将来、どのような社会を生きていくのでしょうか。超少子超高齢化、グローバル化、情報化、生成AIなどの技術革新等が急速に進んでいます。また、社会や雇用の在り方が急激に変化するとともに、様々な業務が自動化され、多くの雇用がAIに代替されつつあります。ほんの数年後の社会すら予測が困難と言われますが、ただ、社会がどう変わっても、私たちがすべきは、未来・将来に向けて今を精一杯生きることです。

本校の学校教育目標は、【学ぼう未来へ 育てよう心と体】です。未来・将来は今の積み重ね。未来の自分が、あのときの自分はよく頑張ったなど思えるような今を、中学校生活を過ごしてほしいとの願いを込め、新たに【未来の自分に誇れる今を】という副題を設けました。

その上で、生徒たちが学力・豊かな人間性・逆境に負けない強い心と身体を育み、社会的自立の礎を築くことを期待して、昨日の入学式・始業式で次の3点を伝えました。

1 学校は学ぶところであること。知識と知恵を身に付けるところであること。

物事を知っている（知識）だけでなく、知識を使って考えたり他者と協力したりして課題を解決する力（知恵）が必要。どちらも身に付けてこそ、人生や社会の未来をよりよく切り拓いていける。

2 自分と他人のよさや違いを認め、協力し合うこと。

人はみな顔が違いうように、考え方や個性もみな違う。みんな違ってみんないい。違うからこそ世の中は面白い。互いの存在や立場を認め合い、支え合い、高め合う集団に成長してほしい。

3 粘り強くやり抜くこと。

自分には無理だと決めつけない、諦めない。自分でやると決めたことを粘り強くやり抜く。毎日の小さな努力の積み重ねが自分を大きく成長させる。中学校生活は未来の自分のための土台作り。

人は誰でも、「よさ」や「可能性」をもっています。生徒たちには仲間とともに学習や特別活動、部活動などに励む中で、自分のよさや可能性を伸ばしてほしいと願っています。そして、私たち教職員は、そのよさや可能性を引き出せるよう支援してまいります。保護者・地域の皆様には、生徒たちの未来・将来のための「今」を応援するとともに、社会に貢献する生徒の育成に向け、御支援を賜りますようお願いいたします。

学校教育目標

学ぼう未来へ 育てよう心と体
～未来の自分に誇れる今を～

【基本理念】すべては生徒の笑顔のために

【めざす生徒像】主体的に学び、社会に貢献する生徒

【めざす学校像】生徒が主役、地域の誇り桶川中学校

【めざす教師像】生徒の可能性を引き出し、職務に全力で取り組む教師